

■当製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読み下さい。

KAWAI DIGITAL PIANO

AF60

取扱説明書

■同梱品

- 本体
- 椅子
- 取扱説明書(本書)
- ヘッドホン
- ヘッドホンフック
- インシュレーター(前、後)
- 保証書
- ご愛用者カード
- アフターサービスと音楽教室のご案内

このたびは、KAWAIデジタルピアノAF60をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。AF60は天然木マホガニー化粧板で仕上げたファニチャータイプのデジタルピアノです。

グランドピアノのタッチ感をリアルに再現したAWAグランドプロ木製鍵盤で厳選された2種類のピアノ音色を演奏できます。

さらに、電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できるようになっています。

AF60の性能をフルに発揮させていただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

目次

◆ 安全上のご注意	2
1. 各部の名称と働き	4
◇ パネル図	4
◇ ヘッドホン	4
◇ ペダルを使って演奏	5
2. 演奏してみましょう	6
1) 基本操作	6
2) ピアノ曲の演奏	7
3. 設定モードの使い方	8
1) チューニング	9
2) EQ (イコライザー)	10
3) リバーブ オン/オフ	10
4. 付録	11
◇ MIDIについて	11
◇ 同梱品の取付	12
◇ ピアノ曲リスト	13
◇ 主な仕様	14
◇ MIDIインプリメンテーションチャート	15

各部の名称と働き 1

演奏してみましょう 2

設定モードの使い方 3

付録 4

◆安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。




 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>注意</p> <p>感電の危険あり 本体をあけるな</p> </div> 	<p>このマークは、感電の危険があることを警告しています。</p> <p>このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。</p>
--	---

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。




絵表示の例

	△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

- 電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
- 発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない




- 感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける、かける、こぼす）などしない



- 漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機を落とさない

落とさない




- 運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには2人以上で座らない
- イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
- イス組立時、ナットをしっかりと締める

使用しない



- イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
- 不安定な場所に置かないでください。
- 長時間使用してイスのナットがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。
- 座板の開閉はゆっくり確実に行って下さい。指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止




- 聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない


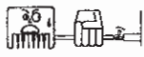
分解禁止




- 故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を

プラグ部分を持つ

- コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く



- 落雷時に火災の原因になります。

⚠ 注意

◆本機を次のような所では使用しない

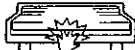
- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用禁止



- 故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりあけしめする

ゆっくり
あけしめする

- いきおいよくあけしめすると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る



- 本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない



- 水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない



- 本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す



- 本機が雑音を発する恐れがあります。
- 本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

からまないようにする



- コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン/シンナー禁止



- 色落ちや、変形の原因になります。
- 清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない



- 変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

◆本機を移動するときは引きずらない

引きずらない



- 移動の際は、必ず持ち上げて運んで下さい。引きずって移動すると、本体を破損する恐れがあります。

- ヘッドホン使用時、または音量を下げた演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

■保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

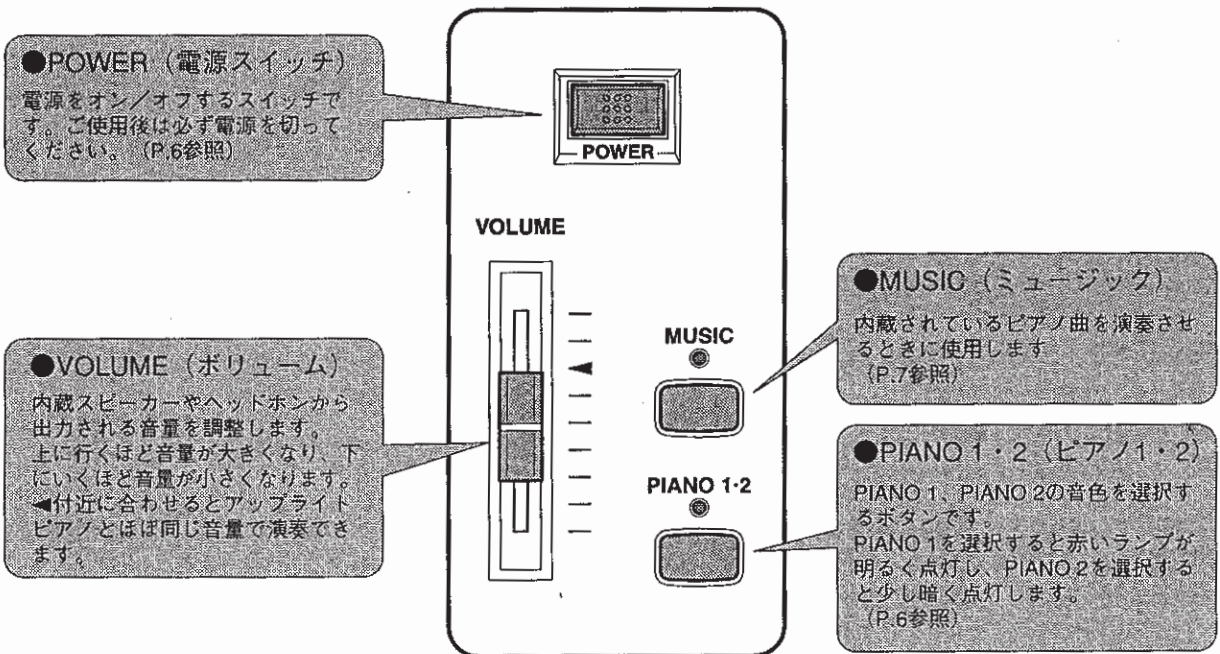
■修理について

- 万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

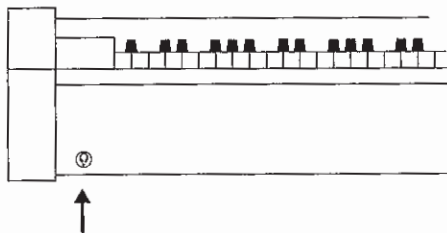
1. 各部の名称と働き

ボリュームやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◇ パネル図



◇ ヘッドホン



◆ヘッドホン端子 (2個)

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2つまで接続できます。

◇ ペダルを使って演奏

◆ ダンパーペダル

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離れた後の音の減衰の仕方が変わります。

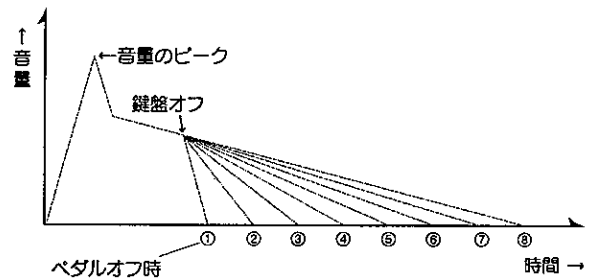
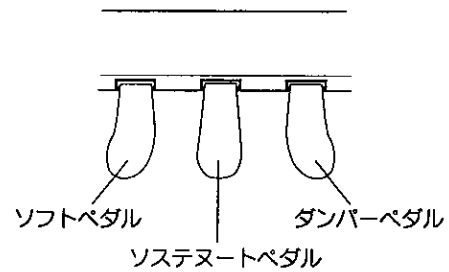
踏み具合により下図の 8段階の減衰の調節ができます。

右図は、鍵盤を押した後の時間と音量の関係を表わしたグラフです。

ダンパーペダルの踏み方により、離鍵時の減衰が、8通りになります。

深く踏むごとに、①→②→・・・→⑧のような減衰の仕方をしていきます。

最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。



◆ ソステヌートペダル

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。

従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

◆ ソフトペダル

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

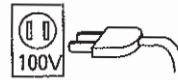
2. 演奏してみましよう

1) 基本操作

ここでは、電源を入れて音を出すまでの基本的な手順を説明します。

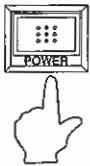
□操作 1

電源コードを エーシー100ボルト AC100V のコンセントに差し込みます。



□操作 2

パワー POWER (電源スイッチ) ボタンを押して電源をオンにします。

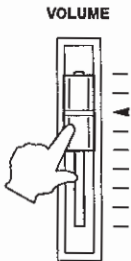


POWER ボタンを押すと PIANO 1・2 のランプが明るく点灯し、PIANO 1 が選択されます。

電源をオンにしている間は、口棒のパイロットランプが点灯します。

□操作 3

ボリューム VOLUME スライダーを ◀ 付近にセットします。



このポジションでは通常のアップライトピアノとほぼ同程度の音量が得られます。

□操作 4

音色を選びましょう。



PIANO 1・2 のボタンを押すと、PIANO 1 と PIANO 2 が交互に選択されます。

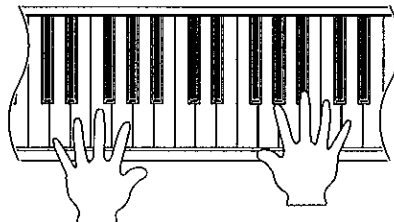
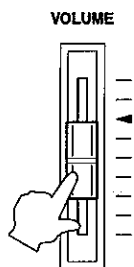
PIANO 1 が選択されるとランプが明るく点灯し、PIANO 2 が選択されると少し暗く点灯します。

□ 操作 5

鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ音色が鳴ります。

VOLUME スライダーでお好みの音量に設定できます。



■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大46音（ステレオ）です。

2) ピアノ曲の演奏

AF60 は 83 曲のピアノ曲を内蔵しています。

□ 操作 1

MUSIC ボタンを押します。



MUSIC ボタンのランプが点滅し、ピアノ曲が演奏されます。
ピアノ曲は順不同に演奏されます。

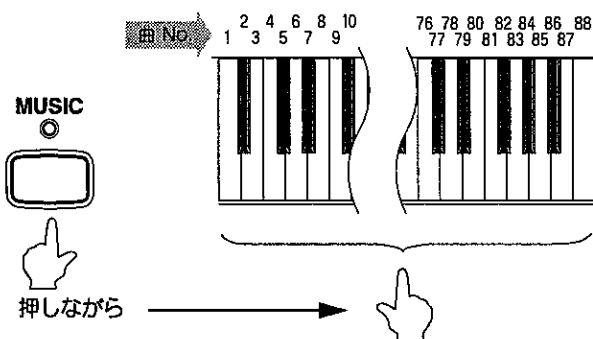
□ 操作 2

再度 MUSIC ボタンを押せば、ピアノ曲の演奏は停止します。

最初に演奏するピアノ曲を選択することができます。

□ 操作 3

MUSIC ボタンを押しながら鍵盤を押します。



83 曲のピアノ曲は、各鍵盤に 1 曲ずつ割り当てられており、この鍵盤で曲を選択します。

（曲目は、13、14 ページを参照ください。）

2 曲目以降は順不同に演奏されます。

曲 No. 84, 86 を選択するとクラシックグループ（曲 No. 1 ~ 43）が、曲 No. 85, 87, 88 を選択するとコンテンポラリーグループ（曲 No. 44 ~ 83）がグループ内で順不同に演奏されます。

3. 設定モードの使い方

AF60は、演奏を楽しむための各種設定をすることができます。
この設定モードでは、以下の設定を行うことができます。

- 1) チューニング
- 2) EQ (イコライザー)
- 3) リバーブ オン/オフ

◇ 設定モードの基本的な使い方

□ 操作 1

MUSIC ボタンと PIANO 1・2 ボタンを押して設定モードに入ります。

MUSIC ボタンと PIANO 1・2 ボタンのランプが点滅します。

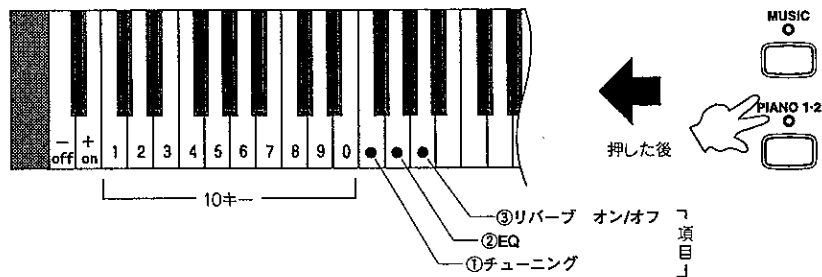
□ 操作 2

鍵盤に割り当てられている設定項目を選びます。

各項目の設定モードに入ります。

□ 操作 3

次に鍵盤に割り当てられている 10 キー、もしくは - (off) / + (on) キーで値を入力します。



■操作 2 と操作 3 を繰り返すことで、続けて他の項目の設定ができます。

□ 操作 4

MUSIC ボタンか PIANO 1・2 ボタンを押せば、設定モードから抜けます。

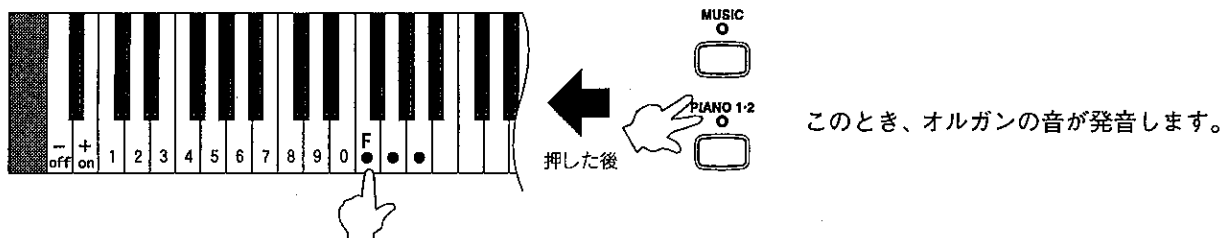
設定した内容は電源を切っても覚えています。
設定モードから抜ける操作を行わないと、記憶されません。

1) チューニング

チューニングは、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

□操作 1

設定モードに入った後、鍵盤F（ファ）を押します。



□操作 2

鍵盤上の10キー、もしくは - (off) / + (on) キーで値を設定します。

427～453Hzの範囲で設定できます。

- (off) / + (on) キーでは、0.5Hz刻みずつ値を変更します。

□操作 3

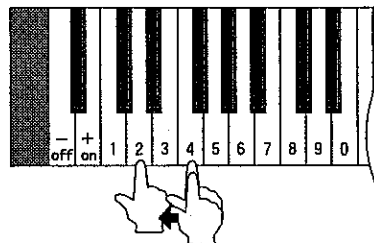
設定完了後、MUSIC ボタンか PIANO 1・2 ボタンを押せば、設定モードから抜けます。

ここで設定モードから抜けずに、続けて他の設定項目を選択し設定することもできます。

◇「A4=442Hz」に設定する場合

□操作 1

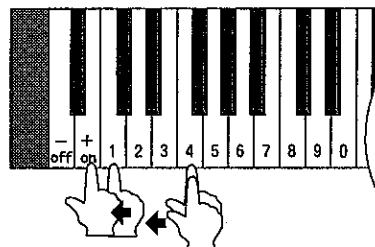
設定モードに入った後、鍵盤F（ファ）を押し、
鍵盤「4」「4」「2」を押します。



◇「A4=441.5Hz」に設定する場合

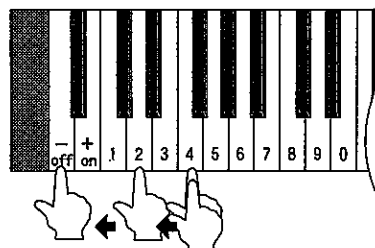
□操作 1

設定モードに入った後、鍵盤F（ファ）を押し、
鍵盤「4」「4」「1」を押し、さらに「+」を押します。



もしくは

設定モードに入った後、鍵盤F（ファ）を押し、
鍵盤「4」「4」「2」を押し、さらに「-」を押します。

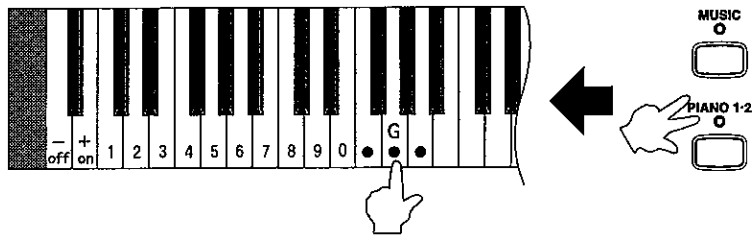


2) EQ (イコライザー)

AF60では、2種類のEQからお好みにあったEQを選び音質調整をすることができます。

□操作1

設定モードに入った後、鍵盤G (ソ) を押します。



□操作2

鍵盤上の -(off) / +(on) キーで選択します。

+ (on) キーを選択すると、少し明るめの音質となります。

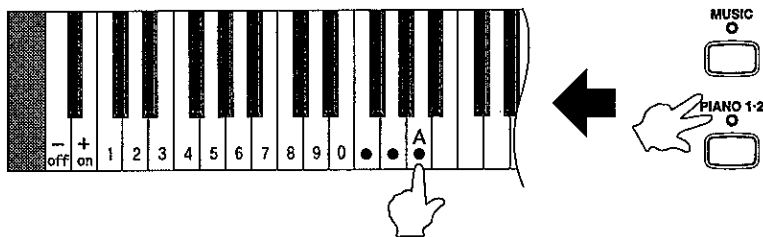
設定完了後、MUSIC ボタンか PIANO 1・2 ボタンを押せば、設定モードから抜けます。
設定モードから抜けずに、続けて他の設定項目を選択し設定することもできます。

3) リバース オン/オフ

音にリバース効果を加えるかどうかを選択します。

□操作1

設定モードに入った後、鍵盤A (ラ) を押します。



□操作2

鍵盤上の -(off) / +(on) キーでオン/オフを設定します。

設定完了後、MUSIC ボタンか PIANO 1・2 ボタンを押せば、設定モードから抜けます。
設定モードから抜けずに、続けて他の設定項目を選択し設定することもできます。

4. 付 録

◇ MIDI について

MIDI について簡単に説明します。

MIDI (ミディ) とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

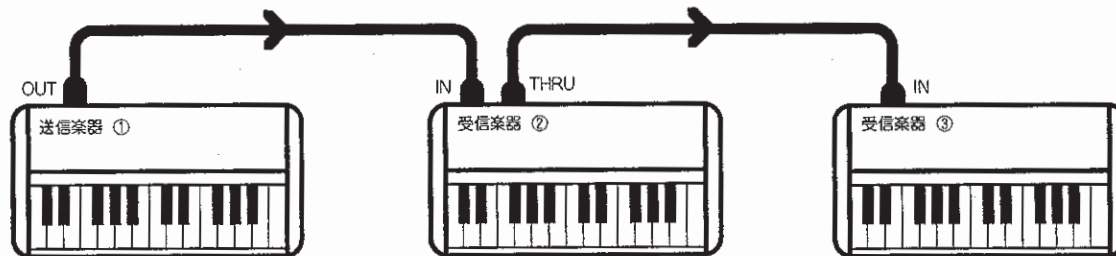
MIDI 端子には、IN、OUT、THRU の 3 つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

- IN : 鍵盤情報や音色情報を受信します。
- OUT : 鍵盤情報や音色情報を送信します。
- THRU : 受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの 2 種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば 3 台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器①は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器②、③に送ります。

受信楽器②、③には、この情報が送られて来ます。基本的には受信楽器②、③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

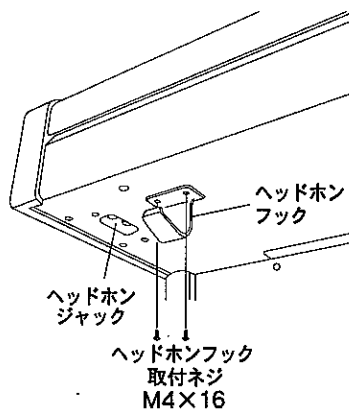
チャンネル番号は、送信、受信とも 1～16 までの番号を使用することができます。

◇ 同梱品の取付

■ ヘッドホンフックの取付

(1) ヘッドホンフックと同封されている先の平らなネジ2本 (M4×16) で、ヘッドホン端子の横にあるネジ穴に取り付けます。

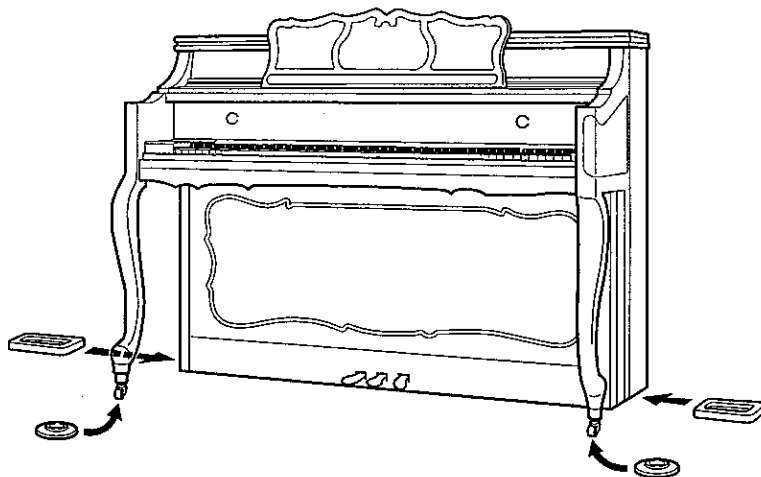
※ ヘッドホンフックが不要な方は、取り付ける必要はありませんので、取扱説明書等と一緒に保管して下さい。



■ インシュレーター（脚）の取付

(1) 同梱されているインシュレーターをキャスター（前）と脚（後）にセットします。

※ インシュレーターが不要な方は、セットする必要はありませんので、取扱説明書と一緒に保管して下さい。



❗ 前脚のキャスターは装飾用です。

移動時に使用すると前脚に負荷がかかり、折れることがありますので、移動用には使用しないで下さい。

◇ ピアノ曲リスト

曲No.	曲名	グループ
1	G線上のアリア	クラシックグループ
2	平均律クラヴィア曲集 第1巻 24の前奏曲とフーガ1番「プレリュードハ長調」	
3	フランス組曲 第1番 “アルマンド”	
4	フランス組曲 第3番 “アルマンド”	
5	フランス組曲 第5番 “アルマンド”	
6	フランス組曲 第5番 “ガボット”	
7	フランス組曲 第6番 “アルマンド”	
8	イギリス組曲 第3番 “ガボット”	
9	ピアノソナタ 第28番 作品101 第1楽章	
10	ピアノソナタ 第14番 作品27の2「月光」第1楽章	
11	ピアノソナタ 第14番 作品27の2「月光」第2楽章	
12	ピアノソナタ 第8番 作品13「悲愴」第2楽章	
13	6つの小品 作品118の2「インテルメッツォ」イ長調	
14	ワルツ イ長調 作品39の15	
15	ベルガマスク組曲「月の光」	
16	ベルガマスク組曲「プレリュード」	
17	夢想	
18	3つのことばのないロマンス 作品17 第3番 変イ長調	
19	ノクターン 第10番 ホ短調	
20	ノクターン 第5番 変ロ短調	
21	無言歌集 第1巻 ホ長調 作品19bの1「甘い思い出」	
22	無言歌集 第8巻 ト短調 作品102の4「そよぐ風」	
23	ピアノソナタ K.331 第1楽章	
24	ピアノソナタ K.545 第3楽章	
25	ピアノソナタ K.283 第1楽章	
26	ピアノソナタ K.283 第2楽章	
27	ピアノソナタ K.283 第3楽章	
28	ピアノソナタ K.547a 第2楽章	
29	アヴェ・マリア	
30	謝肉祭「4つの音符による面白い情景」作品9 「ショパン」	
31	謝肉祭「4つの音符による面白い情景」作品9 「浮気女」	
32	謝肉祭「4つの音符による面白い情景」作品9 「返事---スフィンクス」	
33	幻想小曲集 作品12 「タベに」	
34	子供の情景 作品15 「おねだりする子供」	
35	子供の情景 作品15 「トロイメライ」	
36	子供の情景 作品15 「こわいぞ」	
37	子供の情景 作品15 「異国から」	
38	子供の情景 作品15 「みたされた幸福」	
39	子供の情景 作品15 「きまじめ」	
40	子供の情景 作品15 「眠る子供」	
41	舟歌	
42	組曲「くるみ割り人形」第2番 作品71Aの4「アラビアの踊り」	
43	幻想的小品集 第1番 変ホ短調作品3の1「エレジー」	
44	Autumn Morn	コンテンポラリーグループ
45	Classical Mood	
46	Coast Highway	
47	Cross Country	
48	Daydream	
49	Drivetime	
50	Evening Breeze	
51	Faded Photos	
52	Forest	
53	Friends	
54	Going Home	
55	Hailstorm	
56	Harvest	
57	Hayride	
58	High Tide	
59	Homecoming	

曲 No.	曲 名	グループ	
60	Icicles	コンテンポラリーグループ	
61	Long Goodbye		
62	Lullaby		
63	Morning Mist		
64	Mountains		
65	New England Farm		
66	Old Flame		
67	Pleasant Surprise		
68	Questions		
69	Rain		
70	Reflections		
71	Ripples		
72	Romantic Story		
73	Secrets		
74	Signs of Fall		
75	Snowy Day		
76	Sunday Morning		
77	Sunrise		
78	The Piano Teacher		
79	Train Ride		
80	Twilight		
81	Waves		
82	Wind		
83	Winter Night		
84	クラシックグループ		
85	コンテンポラリーグループ		
86	クラシックグループ		
87	コンテンポラリーグループ		
88	コンテンポラリーグループ		

クラシックグループは曲 No.1 から 43 を順不同に演奏します。
 コンテンポラリーグループは曲 No.44 から 83 を順不同に演奏します。
 コンテンポラリーグループの曲はカワイオリジナルです。

◇ 主な仕様

AF60	
■ 鍵盤	88 鍵 AWA グランドブロ木製鍵盤 (AWA: アコースティック ウェイティッド アクション)
■ 同時発音数	最大 46 音 (ステレオ)
■ 音色	ピアノ 1、ピアノ 2
■ ピアノ曲	全 83 曲
■ その他の機能	チューニング、EQ (2 種)、リバーブ
■ ペダル	ダンパー (8 段階)、ソフト、ソステヌート
■ 外部端子	ヘッドホン (2)、MIDI (IN、OUT、THRU)
■ 出力	40W × 2
■ スピーカー	16cm × 2、(5 × 9cm) × 2
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	70W
■ 仕上げ	マホガニー半艶塗装
■ 寸法	(W × D × H) 151 × 55 × 105 (cm) 但し譜面台含まず
■ 重量	82.0Kg
■ 同梱品	本体/椅子/取扱説明書 (本書) /ヘッドホン/ヘッドホンフック/インシュレーター (前、後) /保証書/ご愛用者カード/アフターサービスと音楽教室のご案内

Date : Jun '04
Version : 1.0

◇ KAWAI [Model AF60] MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション	送信	受信	備考	
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 *****	1 *****	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 モード1,3* ×	*電源ON時オムニオン。
ノート ナンバー	音域	21 - 108 *****	0 - 127 0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v=1-127 × 9nH v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	7 10 11 64 66 67	× × × ○ (右ペダル) ○ (中ペダル) ○ (左ペダル)	○ ○ ○ ○ ○ ○	ボリューム パンポット エクスプレッション ダンパー ソステヌート ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○ (0 - 1) *****	○ (0 - 1)	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○(123~127) ○ ×	
備考				

モード1 : オムニオン、ポリ モード2 : オムニオン、モノ
 モード3 : オムニオフ、ポリ モード4 : オムニオフ、モノ

○: 有り
 ×: 無し

KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市寺島町200番地

TEL.053-457-1277 / FAX053-457-1279

<http://www.kawai.co.jp/>